

細くとも強く 一糸一筋一世紀

東洋燃糸工業株式会社



専務取締役 **岡本 泰三** 氏



一本に見える糸も、実は何本かをそろえて撚りをかけている場合がある。こうした糸を「撚糸」という。強度・弾性が増し、衣料用は肌触りが良くなるなど、機能や性能が向上することから用途も幅広い。

撚糸加工を中心に、産業用の複合糸などを製造加工する東洋燃糸工業(株)(福山市御幸町)では、撚糸技術を活用して新分野の糸の開発にも取り組む。1907年(明治40年)に創業して、110年もの歴史を誇る同社。異業種とも積極的にコラボレーションしている。岡本嘉晴社長と岡本泰三専務に事業展開などを聞いた。

軍用パラシュートからストッキングへ

創業時の社名は「岡本織物工場」。綿織物と絹織物を中心に、戦時中はパラシュート用の撚糸も扱っていた。また、国の命令で同一業種の企業統合が進められたこともあって、1943年(昭和18年)、現在の社名である東洋燃糸工業(株)が発足した。戦後は糸一筋に歩み、現在は建築資材の補強シートといった産業用の資材やタイツなどの衣料関係を中心に製造加工している。綿、絹、人絹からナイロン・テトロンへと取り扱う素材も変遷している。

戦時中のパラシュート、昭和40年代からの衣料、

平成に入ってからストッキング、そして資材。「生き残るためにさまざまなニーズを追い求めていった結果、今がある」と岡本社長は話す。

衣料用途の糸の加工メーカーは、国内では北陸地方が多い。繊維メーカーの多い備後地方だが、糸の加工メーカーとなると同社以外に存在しない。「化繊しか扱わない会社だが、この地域に一つしかない。秘密の話も漏れることはないし、依頼しやすいのでは」と岡本社長。「糸と同じく、細く長くやっています」と笑う。

同社の製品は最終製品でなく資材が多いため、なかなか一般消費者の目に留まる機会がない。取



▲1918年(大正12年)の社屋と工場。現在でも一部使用している。



太い糸に単糸を複数本組み合わせる撚糸機(カバーリングマシン)



▲カバーリング加工を施した出荷前の糸



▲直径約0.8mm、赤、青の銅線の束に0.05mm銅線が3本ずつ計6本の糸電線

風船に、細くしなやかで引張強度のある糸電線をつなげLEDを点灯。夜、明るく浮かび上がる「光る風船」。

引先から使用する素材を指定され、それを組み合わせさせて製品とする。研究段階での試作の依頼も多いが「小ロットでも『ノー』と言わない会社でありたい」と岡本専務。「たとえダメだと思っても、試作はすべて勉強の心構えで受けている」という。サンプル用の研究開発依頼が、年間30〜40社からある。件数にすると200〜300種類にも及ぶという。同じ太さの糸5〜6種類を組み合わせると、糸の組み合わせは無限になる。それもある「一つひとつ取引先の要望に応じて製品を作っている」という。

撚糸には、何本もの単糸を撚り合わせる「合撚」糸とパンティストッキングなどに使われる「カバーリング」糸があるが、同社は合撚機とカバーリング機の両方を自社設備している。撚糸加工に関する幅広い経験と知識の証となっている。

取引先との信頼を大切に

同社の理念は「信頼」だ。「試作や開発を請け負うと依頼先のノウハウを知ることになる。互いに信頼がなければ長くはやっていけない」(岡本社長)。「製品の質にブレが出るようでは迷惑をかけてしまう。均一な張力の糸など、同じ質の製品を長期に安定して供給することが信頼につながる」(岡本専務)とする。研究開発を続ける中で、依頼先の当初の要望とは異なった分野の用途に転用できることもあるという。

同社が撚糸技術を駆使して開発、今後の展開に期待を寄せているのが、糸のような電線電源コードの「糸電線」だ。細く、しなやかで軽く、引

張強度が強いという特徴がある。元々「光る風船」の光源用に開発。特許取得済、商標登録済の製品だ。電線は染色が可能で、加工もそれぞれの用途に応じて受けるので、各種電子機器など幅広い活用ができる。

エンタメ系の業種とのつながりについても「人の笑顔につながる、人の喜ぶ仕事をするのが従業員のモチベーションにつながる」(岡本専務)と強調する。

岡本専務の長男は、2歳で可愛い盛り。「子どもと遊ぶことが何より楽しい」と目を細める。

人口減少社会で、繊維業のパイが縮小している現実がある。今後の展開について、岡本専務は「業種に関わらず何にでも手を伸ばしていきたい。これまで関係がなかった異業種とのつながりを作り、技術を磨き、ノーと言わない会社でありたい」と話す。細く長く、丈夫でしなやかな会社を目指す。

(取材・文 ビジネス情報 塩田 聡)



東洋燃糸工業(株)

- 所在地 福山市御幸町下岩成625-2
- TEL (084)955-1055
- FAX (084)955-5561
- ホームページ <http://www.toyo-nenshi.co.jp>